

令和4年度事業報告書

学校法人法林寺学園

1, 事業計画の基本方針

教育方針

仏教精神を教育の場に活かし、すべての物に感謝の念と、人をいたわる慈悲の心を養い、豊かな情操と道徳心の芽生えを育てる。

日常生活の基本的週間を身につけ、考える力や創造力を伸ばし、自主独立の心を育て、よき社会人となる基礎を身につけることを、本園の教育方針としている

2, 園児数

(令和4年5月1日現在)

	園則上		実際の 状況		左の内訳	
	学級数	定員	学級数	園児数	男児	女児
歳児						
3歳児	4	100	4	45	22	23
4歳児	3	90	3	42	26	16
5歳児	3	90	3	61	34	27
計	10	280	10	148	82	66

3, 役員・教職員

役員 理事 6名
監事 2名
評議委員 13名

職員 園長 1名
教諭 15名
講師 8名
事務 1名

4, 事業の概要

- ・ コロナ渦における変化への対応を考える。

コロナ渦ではあるが、確実に対応はできてきた。
平常の状況に戻りつつあるがその狭間ででの中途半端な決定が増えてしまった。

- ・ 幼稚園見学の積極的受け入れおよび、保育内容の公開

就職フェア等のイベントに対して積極的に参加し成果があがった。
子育て支援を元に計画したものは評価もされ成果もあった。
ホームページ等の活用が足りないかと思われる。
SNS等の利用については再考が必要と思われる。

- ・ 防災計画の見直し

引き渡し訓練等、新たな試みをし園全体として防災意識が高まった。
学校安全計画の作成も引き続き行い、次年度以降にさらに細かな所まで追求していくこととした。

- ・ 障害児教育における体制作り

人員配置も満足できるものであった。
療育機関との連携を求めているが、スタンスの違いからスムーズではない部分がある。
全体的にはチームとして個々の園児に対応することによって、指導に幅が出来成果をあげる
ことができた。